

京都市ベンチャー型事業承継支援事業

京都アトツギイノベーションプロジェクト

MEET UP

Vol.2

ミートアップ

KYOTO



公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

10階 プレゼンテーションルーム

京都市下京区中堂寺南町 134 番地

DAY 2019 9.20 (金)

TIME 16:00~18:10
※交流会 18:10~19:10

入場無料!

交流会参加の場合は
1,000 円

事業承継 × イノベーション

事業承継・・・2025年には日本の社長の64%が70歳以上を迎え、2/3が後継者不在。このままでは、約22兆円の国内総生産、約650万人の雇用が失われるおそれがあるといわれています。そこで、京都市・公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM) では、若手後継者が家業の持つ経営資源を活用し、新たな発想や技術と掛け合わせることで、新事業創出や新市場開拓につなげ、地域の事業を次世代に引継ぐことを目指す「京都アトツギイノベーションプロジェクト」を展開しております。このプロジェクトの一環として、ミートアップ（講演会・トークセッション・交流会）の第2回目を開催します。後継経営者、後継候補者の方はもちろん、事業承継に関心のある地域企業経営者、金融機関やベンチャー起業家、学生の方も是非、ご参加ください。

詳細は裏面

主催：京都市、公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)

協力：近畿経済産業局、京都商工会議所、株式会社京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫

京都信用保証協会、日本政策金融公庫、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

京都大学 産官学連携本部、京都オスカークラブ、オスカー YOUTH

一般社団法人ベンチャー型事業承継

お問い合わせ：公益財団法人京都高度技術研究所 地域産業活性化本部（担当：金山、山口）

TEL: 075-366-5217/075-315-3708 / Email: event-g@astem.or.jp



京都アトツギ「J」ベーション ミートアップ Vol.2



公益財団法人京都高度技術研究所 (ASTEM)
10階 プレゼンテーションルーム
京都市下京区中堂寺南町 134 番地

タイムテーブル

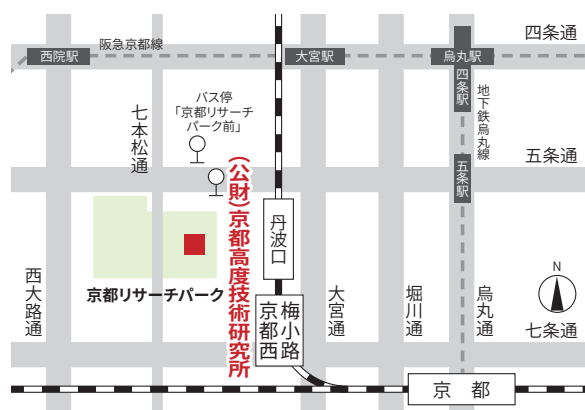
- 16:00 オープニング
- 16:05 アトツギ「J」ベーター講演 ①
「リアル販売×IoT ～3代目社長の経営革新～」
株式会社FUKUDA 代表取締役 福田喜之氏
- 16:50 休憩
- 17:00 アトツギ「J」ベーター講演 ②
「西陣織×IoT でウェアラブルコンピュータ市場に進出！
～廃業寸前からの劇的ドラマ～」
ミツフジ株式会社 代表取締役社長 三寺 歩氏
- 17:45 トークセッション
- 18:10 交流会
- 19:10 クロージング

アクセス

【交通案内】

電車：JR嵯峨野線 丹波口駅から徒歩5分

バス：市バス、京阪京都交通バス 京都リサーチパーク前
京都バス 五条千本 下車 徒歩2分



株式会社 FUKUDA 代表取締役 福田喜之

ミツフジ株式会社 代表取締役社長 三寺 歩

プロフィール PROFILE

1970年4月生まれ。京都出身。大学卒業後、自動車メーカーを経て、1998年に、父が創業した「株式会社 福田商店」に入社。2005年に代表取締役に就任。2006年に商号を「株式会社 FUKUDA」に変更。
【株式会社 FUKUDA】1969年に、自動車・バイク用潤滑油専門の卸売として父の福田毅氏が創業。日本の高度成長とともに業績も堅調な中、1992年に父の死去に伴い、母の福田良子氏が代表取締役に就任。その後、2006年に現代表取締役である福田喜之氏が36歳の時に社長に就任。

自動車・二輪車用潤滑油及び工業油の卸売が主力事業。自動車整備工場やカーディーラーなどに、1500品目を超えるエンジンオイルなどを販売。地域密着の営業体制が強みで、近畿2府4県を営業とし、現在の顧客数は約3,000店舗。近年の原油価格高騰や自動車のハイブリッド化、EV化に伴いオイル業界の生き残りが厳しくなる中、福田喜之氏が残量検知機能付きのオイルタンクを設置し、量り売りする手法を開発。残量を見て自社のローリー車で出向き、オイルを販売・提供する業界初のサービスを展開。IoTの活用で、顧客のオイル在庫量を管理し、顧客側の手間やリスクを解消し、低価格を実現するとともに、労働環境の改善やCO2排出削減にも貢献。2018年6月第2回日本サービス大賞（内閣総理大臣表彰）「優秀賞」を受賞。

プロフィール PROFILE

1977年2月7日生まれ。京都府立城陽高校出身。立命館大学経営学部在学中に海外向けネット書店を立ち上げ、海外在住の日本人や日本人コミュニティーに対するBtoCビジネスを展開。卒業後、松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）に入社し、大手法人顧客を担当。その後、シスコシステムズ合同会社、SAPジャパン株式会社、ブルーコートシステムズ合同会社を経て、2014年9月に三ツ富士繊維工業株式会社（現ミツフジ株式会社）に入社、代表取締役社長に就任。

家業の経営資源を徹底的に洗い直す中で、父親である2代目、三寺康廣氏が独自の技術で開発した銀メッキ導線性繊維 AGross(エージーボス)は、ナイロン糸に銀を薄膜かつ均一に表面加工を施し、従来の銀メッキ繊維と比較して銀の含有量が圧倒的に多いため、銀の特徴である導電性、抗菌、防臭、さらに洗濯耐久性に優れていることに着目。西陣織で培ったノウハウと、自身が異業種のサラリーマン時代に培った経験や人脈を掛け合わせることで、ウェアラブルコンピュータ市場に参入。銀メッキ繊維の開発力とIoT技術を使い、着るだけで心拍などの生体データが分かる着衣型ウェアラブル端末 hamon(ハモン)を2016年12月に発表。2018年にはウェアを製造する工場を福島県川俣町に竣工。2018年にはForbes JAPANの創業10年以上、売上高100億未満の価値ある企業を表彰する「スモールジャイアンツ」で大賞に輝き、同誌の表紙を飾った。

対象

- ・後継経営者、後継候補者
- ・事業承継に関心のある地域企業経営者
- ・金融機関関係者
- ・大学の研究者、大学関係者
- ・ベンチャー起業家
- ・学生、留学生

お申し込み方法

定員：50名（要申込・先着順）

参加費：無料

交流会参加の場合は1,000円

申込：右記リンク先のフォームからお申し込みください。

